

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-528457(P2004-528457A)

【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2004-036

【出願番号】特願2002-589571(P2002-589571)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 B 67/22

C 0 9 B 57/00

C 0 9 B 67/04

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

【F I】

C 0 9 B 67/22 F

C 0 9 B 57/00 Z

C 0 9 B 67/04

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月22日(2005.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パラ-ジメチルDPP30～80モル%と、パラ-ジクロロDPP70～20モル%と、からなるホスト-ゲスト固溶体であって、該ホスト-ゲスト固溶体のX線回折パターンが、パラ-ジメチルDPP顔料のX線回折パターンと実質的に同一である、ホスト-ゲスト固溶体。

【請求項2】

パラ-ジメチルDPP35～65モル%と、パラ-ジクロロDPP65～35モル%と、からなる、請求項1記載のホスト-ゲスト固溶体。

【請求項3】

a) 高沸点有機溶媒中でパラ-ジメチルDPP30～80モル%と、パラ-ジクロロDPP70～20モル%と、からなる顔料混合物の懸濁液を形成し、

b) 顔料混合物を充分な時間加熱してホスト-ゲスト固溶体を製造する、ことを含む、請求項1または2に記載の固溶体の製造方法。

【請求項4】

高沸点有機溶媒が、ビフェニル、パラ-、メタ-もしくはオルト-テルフェニル、ジベンジルトルエン、-メチル-もしくは-メチルナフタレン、1,3-ジオキソラン-2-オン、アセトフェノン、ベンゾフェノン、-ブチロラクトン、Phen-セロソルブ、Bu-セロソルブまたはそれらの混合物、あるいはジ-およびトリアリールエーテルの混合物からなる群より選択される、請求項3に記載の方法。

【請求項5】

a) パラ-ジメチルDPP30～80重量%と、パラ-ジクロロDPP70～20重量

%と、から本質的になる顔料混合物を形成し、

b) 顔料混合物を充分な時間粉碎してホスト - ゲスト固溶体を製造する、
ことを含む、請求項 1 または 2 に記載の固溶体の製造方法。

【請求項 6】

粒子のサイズを減少させるのに有効な量の粉碎用塩の存在下に混合物を粉碎する、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

粉碎用塩が水和された硫酸アルミニウムである、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

高分子量有機材料と有効な着色量の請求項 1 または 2 に記載の固溶体とを含む組成物。

【請求項 9】

高分子量有機材料を着色するための、請求項 1 または 2 に記載のホスト - ゲスト固溶体の使用。

【請求項 10】

液体担体と着色有効量の請求項 1 または 2 に記載のホスト - ゲスト固溶体とを含む塗料調合物。